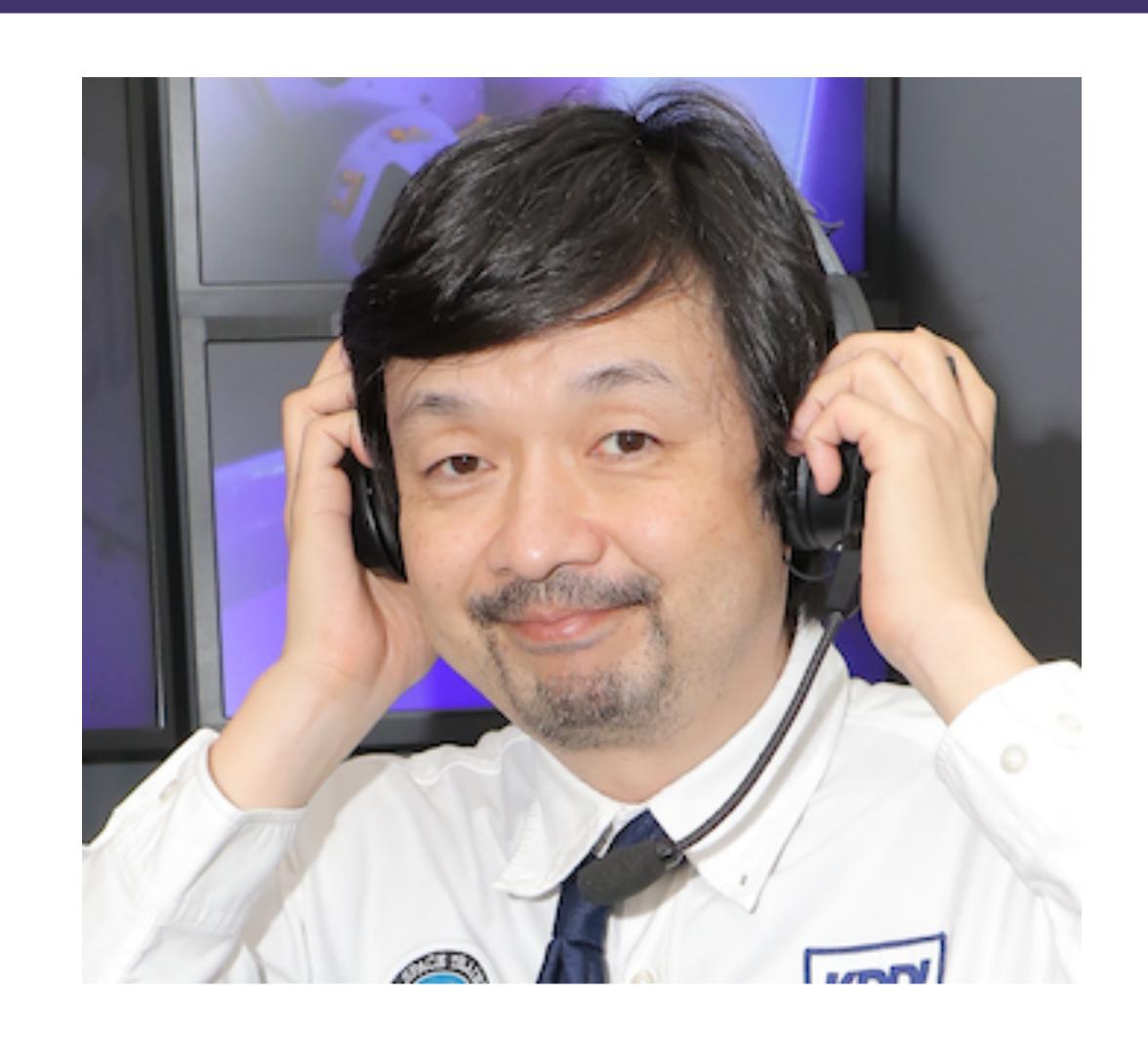
アントレプレナーシップ勉強会第2回 ビジネスアイデアの発想法

山崎進



講師紹介

- 2003年に東京から福岡市に
- 2006年に北九州市に移住
- 2007年から北九州市立大学国際環境工学部講師
- 2016年から同准教授
- 共同研究企業やNDA締結等、公的に関わりのある企業の数では、北九大で随一



- アイデアの源泉とは?(市場の課題、自分の経験、未来予測)
- アイデア創出のフレームワーク
- 参加者同士でアイデア出しワークショップ

- アイデアの源泉とは?(自分の経験、市場の課題、未来予測)
- アイデア創出のフレームワーク
- 参加者同士でアイデア出しワークショップ

- アイデアの源泉とは?(自分の経験、市場の課題、未来予測)
- アイデア創出のフレームワーク
- 参加者同士でアイデア出しワークショップ

アイデアの源泉~自分の経験

- 自己分析
- 自分自身の関心事や問題意識

アイデアの源泉~自分の経験

• 自己分析

- 好きな方法を使ってくれて構いません
- 私はクリフトンストレングス(旧称ストレングスファインダー)をよく使っていました
- 自分自身の関心事や問題意識

アイデアの源泉~自分の経験

- 自己分析
- 自分自身の関心事や問題意識
 - 自分自身の関心事や問題意識以外のことで起業するのはモチベーション続かず至難
 - 本来苦手なことを克服することに、関心や問題意識が向きがちだけど、それは起業 向きではない
 - 人より得意なこと/苦にならないことの中で、自分自身の関心事や問題意識が向けられるテーマを選ぶのがポイント

- アイデアの源泉とは?(自分の経験、市場の課題、未来予測)
- アイデア創出のフレームワーク
- 参加者同士でアイデア出しワークショップ

アイデアの源泉~市場の課題

- 自分の経験と、公文書や白書等に取り上げられている社会的課題とのマッチングを図る
- 自分の経験を核にして、マーケティング・リサーチを行う

アイデアの源泉~市場の課題

- 自分の経験と、公文書や白書等に取り上げられている社会的課題とのマッチングを図る
 - https://zacky1972.github.io/blog/2023/07/02/research-seeds.html
- 自分の経験を核にして、マーケティング・リサーチを行う

アイデアの源泉~市場の課題

• 自分の経験と、公文書や白書等に取り上げられている社会的課題とのマッチングを図る

- 自分の経験を核にして、マーケティング・リサーチを行う
 - 顧客候補の特定、半構造化インタビュー
 - AIを用いたフェルミ推定

- アイデアの源泉とは?(自分の経験、市場の課題、未来予測)
- アイデア創出のフレームワーク
- 参加者同士でアイデア出しワークショップ

アイデアの源泉~未来予測

- 技術動向の俯瞰と深掘り
- 思考実験(極端化)

アイデアの源泉~未来予測

- 技術動向の俯瞰と深掘り
 - 研究活動(問い/サーベイ/仮説検証実験)
 - https://qiita.com/zazen_inu/items/5dc2ea32aa4de18c02c7
- 思考実験(極端化)

アイデアの源泉~未来予測

- 技術動向の俯瞰と深掘り
- 思考実験(極端化)
 - 事例紹介: 衛星データに関して(次のページ)

思考実験の前提

- SAR衛星コンステレーションの方向性を究極まで押し進めたとする
- 日米独仏加の法規制のもとでSAR衛星画像として合法的に民間で流通できる最も高い空間分解能は24センチメートル四方である
- 民間企業のSAR衛星コンステレーション1社が保有する衛星画像の量的な上限は、次の場合である
 - 地球全体の表面積約5億平方キロメートルを空間分解能24センチメートル四方かつ10 分間隔に観測できた場合

思考実験と問題提起

- 地球全体の表面積約5億平方キロメートルを空間分解能24センチメートル四方かつ10分間隔に観測できた場合
- この時に地球全体を画像化した時の画像サイズは**約8.7ペタピクセル**にも及び, 4K画像10億枚以上に相当する
- 1ピクセルを8ビットで表現すると約8.7ペタバイトとなり、1テラバイトのSSDが約8,700台分に相当
- これを10分間隔で更新するので、1日に約1.2エクサバイト、1年間で約456エクサバイトに達する
 - すなわち1年間で地球全体を収めたSAR衛星画像データのためだけにSSDを4.56億台も増設する必要がある
- SAR衛星コンステレーションから得られる膨大な衛星画像データをリアルタイム処理・保存・通信する技術 を研究開発していく必要がある

- アイデアの源泉とは?(自分の経験、市場の課題、未来予測)
- アイデア創出のフレームワーク
 - マンダラート(紙を配る)
 - AIを活用すると、広く浅く俯瞰することができる
 - 逆張りで、AI時代においては、直観にしたがって深掘りする方が独創性ある着想になる
- 参加者同士でアイデア出しワークショップ

- アイデアの源泉とは?(自分の経験、市場の課題、未来予測)
- アイデア創出のフレームワーク
- 参加者同士でアイデア出しワークショップ
 - 今日、どれを体験してみたいですか?
 - 個別コンサルティングを受けたい場合には
 - https://www.kitakyu-u.ac.jp/research/cooperation/advisement.html